

東山浄苑からのご案内

創建五十周年記念

浄苑最上、最高の納骨壇・信楽壇

神佛習合のみ教に結縁 永久の安らぎを

極楽浄土を想起 信楽堂

嘉枝堂地下三階に信楽壇専用の御堂・信楽堂を建立しました。檜造りの清楚な扉を開けると、そこにはおごそかな照明と内装、神佛習合のみ教に包まれた、まさに極楽浄土を想起させる荘厳な世界が広がります。

信楽堂納骨者だけの

日本初・神佛習合の礼拝所(御荘嚴)

威容を誇る信楽壇納骨者専用の礼拝所(御荘嚴)は、本邦初となる神佛習合のみ教の結晶で、信楽壇の納骨者だけが参詣できます。

御本尊は嘉枝堂本堂とここにしかない、御法主白下ご発案のガンダーラ式、白木の阿弥陀如来立像、世界遺産・スリランカ佛歯寺から贈られた、佛教の祖・釈尊坐像、天照大御神、親鸞聖人が「和国の教主」と仰がれた聖徳太子、聖人と蓮如上人に大師号を贈られた



日本初・神佛習合の礼拝所(御荘嚴)

明治天皇の天牌をご奉安。

信楽壇納骨者の為、毎朝には伝統ある本願寺の法式に則った勤行(晨朝)春秋彼岸、盂蘭盆会、報恩講、修正会等、各年中佛事も勤まり、お念佛の聲が高らかに各信楽壇へ届きます。

眞の佛弟子としての歩みを

法統継承之証

割当時に授与される法統継承之証には、釈尊、天照大御神から御法主台下まで連綿と続く神佛習合の法統の末流に連なる証として、信楽壇納骨者とその家族の俗名、法名が、御法主台下のお許しを得て、一人ずつ特別に本願寺の御連枝によって揮毫されます。これにより、蓮如上人が「足手ヲハコビ」報恩謝徳ノ懇志ヲハコブと仰せられた如く、少なくとも一年に一度は浄苑に参詣して懇志を運び、神佛や先祖への感恩の惟いに包まれる眞の佛弟子として歩み始めてください。

本願寺懐中名号

蓮如上人は、「本尊は掛け破れ」と仰せになるとともに数限りない程の御名号を門徒に下附されました。これによって御名号が各家庭に奉安され、我国初の家庭佛壇となって、日本佛教は革新的な発展を遂げることとなります。そして、何よりも多くの日本人の人生はみ佛とともにある、感恩の惟いと喜びに満ち溢れたものとなったのです。

そこで、信楽壇納骨者が家庭で常に御本尊を拝む生活を送るべく、本願寺懐中名号を年々、年末から年初にかけて授与します。佛恩に感謝し、本願寺懐中名号とともに新年をお迎え下さい。なお、旧年の本願寺懐中名号は浄苑でお焚き上げをします。

信楽壇 ご契約者の声

亡き人の極楽往生はもちろん、私たちも神仏の照護の下、眞の仏弟子として、誇りと喜びを持って仕合せに生きるご縁を深められる信楽壇。ご契約者からのご意見をご紹介します。

法統継承之証に亡き母の法名、俗名を書いていただきました。お釈迦さまや天照大神に連ねて下さり、感謝の気持ちでいっぱいです。私もいざればそこに記載していただけると思ふと、余生も安心して過ごせます。

七十年代 男性
亡母様とご自分のために



本願寺懐中名号



法統継承之証

見学の際、美しい祭壇をひとめ見たときから「ここに縁をいただきました」と思いました。いつかは自分が向かう場所ですが、元氣な間に契約したことでお寺さまとのつながりも生まれ、各種行事への参加を乐しみにしております。

六十年代 女性
ご夫婦とお子様のために



蓮如上人記念館 道の駅「蓮如の里 あわら」に

記念館を機能強化施設とする福井県あわら市初の道の駅「蓮如の里 あわら」は4月22日に開業し、大谷暢順御法主台下と昵懇の稲田朋美衆議院議員、山谷えり子参議院議員等と当財団職員が賑々しくテープカットを行いました。

記念館では道の駅化に伴い、館内施設・自然館の庭園化、天然記念物・鹿島の森、北潟湖、吉崎御坊跡を一望できる鳳凰閣への京都の人気店「イクスカフェ」北陸初出店等を進めてきました。

中でも話題を呼んだのが、オホーツクのクリオネと流水の一年間を通した展示と、徳島県無形民俗文化財・人形浄瑠璃の作品約五十点を展示する北陸初の特別展「神宿る 阿波の

現在、特別展では京都の伝統工芸品を展示する「This is KYOTO」パリを魅了した京の至宝展を開催中です(8月31日迄)。



東京、名古屋から計三百人が集った道の駅開業記念、徳島の人形公演



@rennyostagram

道の駅「蓮如の里 あわら」
福井県あわら市吉崎 1-901
0776-75-2200

・交通アクセス等、詳しいご案内はホームページ、インスタグラムもご覧ください。

